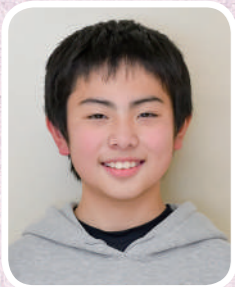


2021 丑年生まれ 年男 & 年女

町内の小学校に通う丑年生まれの子ども
たちに今年頑張りたいことを聞きました。



下道 竜真 さん
(葛巻小6年)

夢に向かって頑張りたい

将来は、家業の酪農家になりたいです。牛を運搬する時に役立てるため、地理の勉強を頑張りたいです。大学進学や海外で研修をして、牛のエサの配合や食事の時間などを学び、葛巻での経営に生かしたいと思っています。



南館 若 さん
(小屋瀬小5年)

笑顔で楽しい学校にしたい

自分の意見を伝えられるようになりたいです。最高学年として、声を掛けながらみんなをまとめ、いつも笑顔で楽しい学校にしたいです。体力づくりで取り組んでいるマラソンをみんなのお手本になれるように頑張りたいです。



大川原 舞桜利 さん
(江刈小6年)

勉強と友達づくりを頑張りたい

理科と算数、国語が好きです。最近の授業では、手で回して電気を作ったり、太陽光発電の実験が楽しかったです。中学では、友達づくりと英語、数学を頑張りたいです。英語で話したり、英文が書けるようになりたいです。



栗畑 瑛太 さん
(五日市小5年)

難しい問題に挑戦したい

算数の問題を解くのが好きなので、難しい問題にも挑戦したいです。国語は、漢字の読みの方が得意なので、書き方も頑張ります。6年生になるので、修学旅行が楽しみです。中尊寺の金色堂など、お寺を見てみたいです。

謹賀新年

「夢しか実現するものはない」とは、私の信条の一つですが、このコロナ禍において、新しい情報通信技術5Gを活用したさまざまな可能性について生徒らが意見交換するなど、今、まさに国が進めるデジタル化に対して、先駆的な取り組みを行っているところがあります。町でもデジタル化の流れと、コロナ禍におけるBCP(事業継続計画)の観点からも、新たに「テレワーク先進地・くずまき構築プロジェクト」に取り組んでおり、サテライトオフィスなどの就業環境を整え、町の魅力を積極的にPRしながら、都市部

からの人材を迎え入れることで、町の課題である移住定住の促進につながる取り組みとして進めてまいりたいと考えております。

新商品の「くずまき鍋」
第三セクターと連携し提供

最後になりますが、昨年の12月1日から町内の第三セクター3社と連携し、町の特産品を生かした新商品「くずまき鍋」の販売を始めたところがあります。この鍋は多くの町産食材を使用し、南部鉄器の特製鍋により提供することで、町で昔から親しまれている郷土料理の「ひがはつ」を再現することで、食への心も芯から温まる鍋

となっており、三者三様の味わいをご賞味ください。

夢と希望を持ったまちづくりへの挑戦

結びに、昨年は、昭和30年の二町二村の合併による葛巻町町制施行から65周年を迎える記念すべき年でありました。が、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、記念行事等はやむなく見合わせることにしました。本年はコロナ禍における対策を工夫し、66周年を記念する式典を開催できるように取り組んでまいりたいと考えております。

現在、経済が低迷し社会情勢も暗い雰囲気にも包まれておりますが、町民の皆さまと

ともに、喜びに満ち溢れる明るい未来に向け、夢と希望を持ち、町民の皆さまとしっかりと手をつなぎ大きな輪となり、「この町だからこそできる」「この町にしかできない取り組み」を展開し、住んでいて良かったと思えるまちづくりをさらに挑戦してまいりたいと考えておりますので、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

自然豊かなくずまきに住む多くの皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。とともに、本年もなお一層のご活躍をご祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。本年が皆さまにとりまして、明るく希望に満ち溢れる素晴らしい年であり、また、日頃から町政全般に渡り、ご理解とご協力を賜っておりますこと心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に追われた1年であり、今なお、取東の見えない状況ではありますが、このような窮地に立たされている逆境の時こそ、大きなチャンスをつかむ機会であるものと思っております。

チャレンジこそがチャンスをつかむ

「夢しか実現するものはない」とは、私の信条の一つですが、このコロナ禍において、新しい情報通信技術5Gを活用したさまざまな可能性について生徒らが意見交換するなど、今、まさに国が進めるデジタル化に対して、先駆的な取り組みを行っているところがあります。町でもデジタル化の流れと、コロナ禍におけるBCP(事業継続計画)の観点からも、新たに「テレワーク先進地・くずまき構築プロジェクト」に取り組んでおり、サテライトオフィスなどの就業環境を整え、町の魅力を積極的にPRしながら、都市部



葛巻町長 鈴木重男

新年あけまして おめでとうございませす

「新しい生活様式」「新しい働き方」を取り入れ、さまざまな課題解決に向け、速やかな一歩を踏み出すチャレンジこそが大きなチャンスをつかむ機会につながるものと考えております。

**新しき年を迎え
取り組む「夢」**

基幹産業である酪農は、新葛巻型酪農構想の実現に向け、酪農に従事する若者をはじめ、町の酪農業へ一歩踏み込んだ取り組みを進めてまいりたいと考えております。

小規模な酪農家が減少する一方で、大規模な酪農家を目指す頼もしい担い手もおります。「酪農の町くずまき」を守るため、酪農に従事する人材を育てていくことが必要であり、昨年は酪農ヘルパー住宅の整備に着工したところがあります。さらに、酪農経営の充実に向けて取り組んでおり、近代酪農に向けた環境整備を進めなければならぬと考えております。

もう一つの基幹産業である林業では、林業労働安全装備品の購入費補助など、担い手確保や森林作業の安全を目的

とした支援を継続するとともに、森林環境譲与税を有効的に活用していくためのさまざまな調査について引き続き進めてまいります。

**道路整備は基盤の一つ
あらゆる分野に寄与**

次に、インフラ整備であり、昨年の9月から供用開始されている町道茶屋場田子線において、歩道が設置されていない区間の早期着工に努め、歩行者の安全確保を進めてまいります。また、町道葛巻浦子内線の大橋については、町産集材材による上屋工事を進め、新たなランドマーク「木橋」として林業の町をこれまで以上に町外に発信してまいりたいと思っております。

道路整備は地域経済の活性化はもとより、防災、救急医療、観光振興、そして教育の充実など、あらゆる分野に大きく寄与する社会基盤の一つであります。また、人と人が移動するため必要不可欠な基盤となるものであり、人流人口や関係人口の拡大などに大きく関わるものであります。これは、移住定住の観点から鑑みましても、非常に重要なものであります。

昨年10月に実施した北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会の第2回決起大会において、県北地域における

横断道路の重要性を広く認識いただいたところであり、盛岡市をはじめとする13市町村が新たに入会し、精力的な要望活動の展開により、早期の計画調査実現に向けた取り組みを強化してまいりたいと考えております。

**医療、教育の充実と
移住定住へのつながり**

次に、医療と教育の充実であります。新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中、医療の確保は重要な取り組みであり、葛巻病院におきましても万全な体制をとり、感染防止対策を強化しているところであります。

新しい生活様式の定着とコロナ禍における新たな行動について、住民の皆さまへの細やかな情報発信を行うとともに、さまざまなご意見をいただきながら、ウィズコロナの時代に向け充実を図ってまいりたいと思っております。

また、教育現場においては、児童、生徒、教師が一体となり、コロナ禍を乗り越えようというところであり、町では小中学校の義務教育の現場に対して「まなび輝く「ひと」づくり支援事業」として、さまざまな観点における支援を模索しており、子どもたちが安心して学べる環境と安定した家庭環境の確保に努めてまい

